

11/2 (水)、11/16 (水) の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 10月26日 (水) 15時00分

発表項目 (行事名)	<p align="center">「農泊推進セミナー」の開催について ～地域の特性を活かす農村ツーリズムのこれから～</p>		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、農山漁村の豊かな自然や食、歴史・文化などの地域資源を活用し、農業や観光業など多様な主体が地域ぐるみで旅行客を受け入れる「農村ツーリズム」を「農たび・北海道」の愛称とともに推進しています。 この取組の一環として、農山漁村地域の特性を活かし、さまざまな体験を通じて、地方と都市の交流促進を目的とした農村ツーリズムのあり方と、それを伝える情報発信の手法について学ぶ「農泊推進セミナー」を開催します。</p> <p align="center">記</p> <p>1 日時・場所：(第1回) 令和4年11月2日 (水) 14:00～17:00 岩見沢市自治体ネットワークセンターマルチメディアホール (岩見沢市有明町南1番地20) (第2回) 令和4年11月16日 (水) 14:00～17:00 北見プラザホテル (北見市とん田東町617-139)</p> <p>2 主催：北海道農政部農村振興局農村設計課</p> <p>3 対象者：農村ツーリズムに興味のある団体・個人、農村ツーリズムに取り組んでいる団体・個人など</p> <p>4 セミナー内容 (第1回) ・基調講演：100年後も雪国であるために～雪国文化を軸とした観光による地域づくり～ 一般社団法人雪国観光圏 代表理事 井口 智裕 氏 ・パネルディスカッション コーディネーター：北海道大学観光学高等研究センター 教授 木村 宏 氏 パネリスト：井口 智裕 氏、泉 剛生 氏、中西 拓郎 氏 (第2回) ・基調講演：地域の未来を創る、さとゆめの挑戦～小さな山村が目指す新しいツーリズムの形～ 株式会社さとゆめ 代表取締役社長 嶋田 俊平 氏 ・パネルディスカッション コーディネーター：北海道大学観光学高等研究センター 教授 木村 宏 氏 パネリスト：嶋田 俊平 氏、道山 マミ 氏、中西 拓郎 氏</p>		
参考	<p>・農泊推進セミナーの講演者・パネリストのプロフィールは、別紙のとおり</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>・当日の積極的な取材をお願いします。 ・取材に当たっては、現地に直接、お越しくください。 ・新北海道スタイルに対応した取材をお願いします。 なお、取材当日は、マスクの着用等ご協力いただくとともに、発熱や風邪症状等がある場合は、取材を控えていただくよう、お願いします。</p>		
他のクラブとの関係	<p>同時配付：(場所) 同時レク：</p>		
担当(連絡先)	<p>農政部農村振興局農村設計課 担当者 小笠原 TEL 011-206-6490(直通) 011-231-4111(代表)27-855(内線)</p>		



北海道

参加
無料

農泊 推進セミナー

地域の特性を活かす
農村ツーリズムのこれから

定員
各回先着
50名
オンライン参加も
別途受け付けます
<要申し込み>

第1回

空知&上川

令和4年 **11月2日** 水

14:00~17:00

岩見沢市

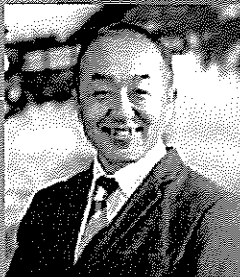
自治体ネットワークセンター
マルチメディアホール
(JR岩見沢駅横)

◎基調講演

100年後も雪国であるために
～雪国文化を軸とした観光による
地域づくり

井口 智裕氏

一般社団法人雪国観光圏 代表理事



雪国という文化的背景を共にする3県7市町村が連携し、日本酒をはじめとする発酵食文化や繊細な織物文化など、雪国の暮らしをもとに新たなブランドストーリーを構築する取り組みが注目される雪国観光圏の事例を紹介します。

◎パネルディスカッション

道内有数の米どころを多く有する農村地帯であり、同時に、冬には大雪に見舞われる豪雪地帯でもある空知&上川エリアの、地域特性を活かした農村ツーリズムについて考察します。

■コーディネーター 木村 宏北海道大学観光学高等研究センター 教授

■パネリスト 井口 智裕一般社団法人雪国観光圏 代表理事

泉 剛生一般社団法人在のまちびえい活性化協会 事務局長

中西 拓郎一般社団法人ドット道東 代表理事

北海道の豊かな自然と、そこに育まれてきた農山漁村の豊かな暮らし。さまざまな体験を通じて、農山漁村の風土、食、歴史、文化、伝統などを体感できる農村ツーリズムは、新たな観光スタイルとして、また、地方と都市の交流促進による地域活性化策としても注目されています。地域の特性を活かし、旅行者も住民も豊かになれる農村ツーリズムのあり方と、それを伝える情報発信の手法について学ぶセミナーです。

第2回

オホーツク

令和4年 **11月16日** 水

14:00~17:00

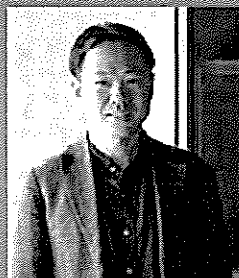
北見プラザホテル
(北見市とん田東町617-139)

◎基調講演

地域の未来を創る、
さとゆめの挑戦
～小さな山村が目指す
新しいツーリズムの形

嶋田 俊平氏

株式会社さとゆめ 代表取締役社長



村全体を「ホテル」と見立て、山里の豊かな暮らしを体験するプロジェクトや、JRの無人駅をホテルのフロントとして、沿線をさながら「ホテル」のように活用しようとするプロジェクトなど、新しい地域プロデュースの事例を紹介します。

◎パネルディスカッション

農山漁村の文化を併せ持ち、農村地帯から沿岸地域へJR線が横断するなど、道内でもユニークな特色を持つオホーツクエリアの、個性を活かす農村ツーリズムについて考察します。

■コーディネーター 木村 宏北海道大学観光学高等研究センター 教授

■パネリスト 嶋田 俊平株式会社さとゆめ 代表取締役社長

道山 マミオホーツク農山漁村活用型体験ツーリズム推進協議会 副会長

中西 拓郎一般社団法人ドット道東 代表理事



講師・パネリスト紹介



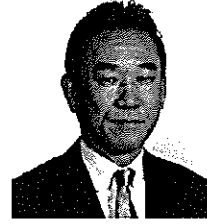
一般社団法人
雪国観光圏
代表理事
井口 智裕 氏

1973年、新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ。Eastern Washington University経営学部マーケティング科卒業。旅館の4代目として家業を継ぎ、2005年「越後湯澤HATAGO井仙」をリニューアル。2008年に周辺7市町村で構成する「雪国観光圏」をプランナーとして立ち上げ、運営に尽力し、観光庁の観光産業検討会議の委員も務める。2013年一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。観光品質基準、人材教育、CSR事業など広域観光圏事業を中核的に推進している。著書に「ユキマロゲ経営理論（2013年、柏倉舎）」。



株式会社 さとゆめ
代表取締役社長
嶋田 俊平 氏

京都大学大学院修了後、環境系シンクタンクにて、地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの事業計画立案等に従事。2013年に株式会社さとゆめ設立。「ふるさとの夢をかたちに」をミッションに、地方創生の戦略策定、商品開発・販路開拓、店舗立上げ・集客支援、観光事業の運営まで、一気通貫で地域に伴走する事業プロデュース、コンサルティングを実践。2019年8月には、山梨県小菅村に「700人の村がひとつのホテルに」をコンセプトとした分散型ホテル「NIPPONIA 小菅 源流の村」を開業した。



北海道大学
観光学
高等研究センター
教授
木村 宏 氏

日本型DMOの先駆けとなる信州いやま観光局にてグリーンツーリズムを推進し、体験型宿泊施設の立ち上げ、道の駅などの公共施設運営、基地型商品の造成、観光まちづくり事業を推進。長野県小布施町の老舗企業にてホテル・レストラン経営の実践・研究も行う。「信越トレイル」「みちのく湖風トレイル」など、日本のロングトレイルの普及活動にも従事。2015年12月、北海道大学観光学高等研究センター客員教授を経て、2020年4月より現職。



一般財団法人
丘のまちびえい
活性化協会
事務局次長
泉 剛生 氏

株式会社日本交通公社（現・株式会社JTB）にてインバウンド事業を担当し、長野オリンピックや日韓ワールドカップといった国際的イベントにも携わる。2010年に美瑛町へ移住。美瑛町商工観光課、美瑛町観光協会を経て、2016年より丘のまちびえい活性化協会に勤務。2017～2018年には農林水産省の農泊事業に採択され、農業と観光を融合させた体験プログラム作りに着手。事業終了後はDMOが引き継いで商品化し、OTAなどを通じて販売・提供を行っている。



オホーツク
農山漁村活用型
体験ツーリズム
推進協議会
副会長
道山 マミ 氏

千葉県出身。2011年、オホーツク地域の地域生産品に対する生産側と流通側の情報を結びつける、第一次産業のコンサルティング業務を行うため、合同会社大地のりんごを設立。現在は地域産品を取り扱うアンテナショップ「オホーツク・テロワールの店」のほか、オホーツクの第一次産業を知ってもらう新しい形の形を提案した体験型交流施設「Connectrip」を運営し、農業や漁業を観光に結びつける取り組みを行っている。



一般社団法人
ドット道東
代表理事
中西 拓郎 氏

北見市出身。2017年一般社団法人オホーツク・テロワール理事就任、2019年一般社団法人ドット道東を設立し現職。ローカルメディア運営の他、編集・プロデュース・イベント企画などで幅広く道東を繋ぐ。道東のアンオフィシャルガイドブック「.doto」は発行部数1万部、次のプロジェクトもCAMPFIREの年間アワードにて「北海道エリア賞」を受賞。2021年にはSNSデータから見る「学生の注目企業2021」にてTOP200にランクインするなど、デジタルメディアによる情報発信に実績多数。

参加申し込み方法

対面形式、オンライン形式（Zoomウェビナー）のいずれも事前申し込みが必要です。



第1回（空知・上川エリア） 令和4年10月31日（月）
第2回（オホーツクエリア） 令和4年11月14日（月）

申込方法 ① 下記「FAX申込書」に必要事項を記入のうえ、事務局までFAXにてお申込みください。
FAX: 011-205-5050（事務局）

申込方法 ② 下記申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力のおうえお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/dist/S375053085/>



※お申し込み受付後、2営業日以内にメールまたはお電話にて受付確認の連絡を差し上げます。連絡がない場合は、必ず事務局までお問い合わせください。

※オンライン形式（Zoomウェビナー）での参加をご希望の方は、セミナー開催前日までにメールでウェビナー参加用URLをお送りします。

お問い合わせ

農泊推進セミナー事務局

（公益財団法人はまなす財団内）《担当/榎津・眞田》

TEL: 011-205-5012（平日 9:00～17:00）

E-mail: nohaku@hamanasu.or.jp

ご来場にあたってのお願い

- ・発熱や体調不良などがみられる場合は、来場をご遠慮ください。
- ・入場時には検温と手指消毒の実施にご協力ください。検温の結果、37.5℃以上の発熱が認められた方は入場をお断りさせていただきます。
- ・会場内ではマスクを着用し、大きな声での会話はお控えください。

FAX申込書

FAX: 011-205-5050

参加希望回 ※希望する回に☑ ※両方にも参加可能です。

空知・上川

オホーツク

※参加方法のどちらかに☑

※参加方法のどちらかに☑

会場

会場

オンライン

オンライン

ふりがな		
お名前		
ご所属 (会社名・学校名など)		
メールアドレス		
電話番号 (日中連絡のつく番号)		
お住まいの地域	都道府県	市区町村

※ご記入いただいた個人情報は厳正かつ適正に管理し、セミナー開催以外の目的に利用したり、ご本人の承諾なく第三者に提供したりすることはありません。